

## 法人名 特定非営利活動法人子育て家庭支援センターあいくる

## 事業計画書

事業名	食と職で女性を元気に！サツマイモ栽培・加工 事業
種類	特定分野事業ネーミング枠 (浦和競馬 SDGs プロジェクト ～ジェンダー平等推進支援事業～)
1. 事業の目的	<p>・日本では男女平等は憲法で保障されているが、いまだに根付く「子育ては女の仕事である」との考え方により、家庭の中での子育ての担い手はほぼ女性である。農業は自分で仕事量の調整が可能のため、こどもの突発的な対応（発熱など）に左右されることなく従事することが出来る上に、土を触ることでのストレス解消効果も期待出来る。子育て中の女性も自らの意志でやりがいのある仕事を選択し、短時間勤務でも収入を得ることが出来る就労先を確保する。 (専業主夫として子育てを担う男性も同様。)</p> <p>・地場産業（農業）を実施し、地域を活性化することで住み続けられるまちづくりを目指す。</p> <p>・子育て世代に安心安全な食を提供し、健康な生活を確保する。</p> <p>・農作物を作るだけでは発展性が見込めないため、それを加工し販売し収益を得る「6次産業」へと繋げる。</p>
2. 事業で取り組みたい地域や社会の課題	<p>(1) 法人の設立目的・これまでの活動・成果</p> <p>① 設立目的：子育て中の閉塞感を減少し、子育て家庭が地域から孤立しないよう安心して集える居場所を提供する。子育て家庭を中心に成長したこども達、子育て中の親支援を行う。</p> <p>② 活動：入間市駅からほど近い場所に、子育て家庭支援センター「あいくる」、仏子駅近くに子育て支援センター「あん」という常設広場を設け、毎日開室している。多くの親子さんを迎え、地域との連携を図りながら広場を運営している。また、一時預かり事業や利用者支援事業も行っている。</p> <p>その他、おもちゃなどを持って市内各地の神社やお寺などに出向く「出張広場はぴはぴ」を8か所で開催。曜日ごとに特色のある遊び場を展開している。また、こども食堂『あいくる・みんなの広場』、中学生以上を対象とした若者の居場所『AIKURU Free BASE』を月に1回ずつ実施。次世代育成事業として、子育て中の親子と共に市内の中学高校に訪問する『おやこ de 先生の未来教室』も実施している。</p> <p>③ 成果：常設広場では年間約1万人の来場者、出張費広場でも年間約1万人の来場者を迎え、一時預かりでは年間約330</p>

	<p>名の預かりを実施している。</p> <p>(2) 課題</p> <p>① 【女性の就労】収入が得られないことで家庭の中で肩身の狭い思いをしている女性は少なくない。ジェンダー平等の観点から、女性の働きやすい職場を作る必要がある。</p> <p>女性の就労にはこどもの預け先の確保などの問題もあり、希望する職種ではなく、就労時間や突発的なこどもへの対応（発熱時など）の可否により決めることを余儀なくされ、その選択肢が狭められている。</p> <p>② 【待機児童の解消】こどもと関わる時間を大切にしながら収入も得ることが出来るため、短時間就労を望む母親は多い。しかし保育所入所の優先順位は短時間労働だと低く待機児童になりがちである。短時間勤務の受け入れ先を増やし、幼稚園に通わせる選択が増えることで、待機児童の解消につながる。</p> <p>③ 【不耕作地の有効活用】入間市は人口 15 万人の都市であるが、市街地化が進んでいる。狭山茶作りを中心に農業が盛んな地域であったが、労力の割に利益が見込めない等の理由から、2世3世の後継者が減少。不耕作地が増え続けている。不耕作地が増え続けることで、食料自給率が低下する危険性がある。</p> <p>④ 【食の安全】安全安心な食生活の観点からみても、地域産業である農業の活性化は不可欠である。</p> <p>⑤ 【持続性のある環境作り】住み続けられる環境作りは地球規模の課題である。里山が身近にある入間市では、落ち葉を活用した腐葉土作りはもちろん、籾殻や米糠を利用した有機肥料で自然の循環を利用した農業に適している。地球環境保護の観点からも、有機農法の様な環境保全型の取組が必要である。</p>
<p>3. 具体的な事業内容</p>	<p>(1) 畑の管理及びサツマイモの収穫</p> <p>① 時期：7月1日～11月30日</p> <p>② 内容：草むしりなど畑の管理・サツマイモの収穫</p> <p>③ 対象：農業体験希望者及び子育て親子</p> <p>④ 場所：入間市二本木</p> <p>⑤ 参加見込み数：350人（ボランティア含む）</p> <p>⑥ 講師：環境保全型農業者 加藤博司氏</p> <p>⑦ 協力者：農業就労希望者。法人スタッフボランティア</p> <p>(2) 農業の勉強会と収穫体験・焼芋大会</p> <p>①日時：10月31日(土)10時～12時</p> <p>②内容：環境保全型農業者加藤氏より自然農についての講義 農作業（蔓払いなど）</p>

	<p style="text-align: center;">収穫体験・焼き芋作り</p> <p>③場所：入間市二本木（雨天時・入間市青少年活動センター）</p> <p>④参加見込み数：150人（ボランティア含む）</p> <p>⑤講師：環境保全型農業者 加藤博司氏</p> <p>⑥協力者：農業就労希望者。法人スタッフボランティア</p> <p>(3) 焼き芋作りと販売及び焼き芋を利用した焼き菓子等商品開発</p> <p>① 時期：11月1日～2月28日</p> <p>② 内容：焼き芋作り・販売・焼き芋ペーストを利用した商品の開発</p> <p>③ 対象：一般市民</p> <p>④ 場所：NPO 法人子育て家庭支援センターあいくる</p> <p>⑤ 協力者：農業就労希望者。法人スタッフボランティア 個人で焼き菓子などの製造販売を実施している、入間市内の子育て中の親。</p> <p>(4) 情報紙「いるま Agri Commu」（アグリコミュ）」の発行</p> <p>① 時期：7月、10月、1月</p> <p>② 内容：サツマイモ栽培を含めた農業の魅力、入間の農産物や生産者の紹介、入間産の野菜を使ったレシピ等を紹介する</p> <p>③ 協力者：地域の農業従事者・法人スタッフボランティア</p>																
<p>4. 具体的な事業の実施計画</p>	<p>(1) 畑の管理及びサツマイモの収穫</p> <p>①実施までの準備 草取り・苗の植え付け・収穫</p> <p>②事業のスケジュール</p> <p>※（ ）内の数字は、具体的な事業内容を示す</p> <table border="1" data-bbox="486 1164 1364 1915"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7月</td> <td>(1) 草刈り、水やり (4) 取材・作成・第2号発行</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>(1) 草刈り、水やり (2) 講師打合せ</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>(1) 草刈り、水やり (2) ポスター掲示、チラシ配布、参加者募集</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>(1) 収穫 (2) 会場準備、イベント実施 (3) 焼き芋機購入・包装資材購入 (4) 取材・作成・第3号発行</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>(1) 収穫 (3) 焼き芋作り、焼き芋販売</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td>(3) 焼き芋作り、焼き芋販売、焼き芋ペーストを利用した商品開発 (4) 取材・作成・第4号発行</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>(3) 焼き芋作り、焼き芋販売、焼き芋ペーストを利用した商品開発</td> </tr> </tbody> </table> <p>③広報計画について</p> <p>・畑での収穫体験などは、法人の月1回発行の広報誌「あいくる通信」での告知。</p>	時期		7月	(1) 草刈り、水やり (4) 取材・作成・第2号発行	8月	(1) 草刈り、水やり (2) 講師打合せ	9月	(1) 草刈り、水やり (2) ポスター掲示、チラシ配布、参加者募集	10月	(1) 収穫 (2) 会場準備、イベント実施 (3) 焼き芋機購入・包装資材購入 (4) 取材・作成・第3号発行	11月	(1) 収穫 (3) 焼き芋作り、焼き芋販売	1月	(3) 焼き芋作り、焼き芋販売、焼き芋ペーストを利用した商品開発 (4) 取材・作成・第4号発行	2月	(3) 焼き芋作り、焼き芋販売、焼き芋ペーストを利用した商品開発
時期																	
7月	(1) 草刈り、水やり (4) 取材・作成・第2号発行																
8月	(1) 草刈り、水やり (2) 講師打合せ																
9月	(1) 草刈り、水やり (2) ポスター掲示、チラシ配布、参加者募集																
10月	(1) 収穫 (2) 会場準備、イベント実施 (3) 焼き芋機購入・包装資材購入 (4) 取材・作成・第3号発行																
11月	(1) 収穫 (3) 焼き芋作り、焼き芋販売																
1月	(3) 焼き芋作り、焼き芋販売、焼き芋ペーストを利用した商品開発 (4) 取材・作成・第4号発行																
2月	(3) 焼き芋作り、焼き芋販売、焼き芋ペーストを利用した商品開発																

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人のホームページ、ブログ、インスタグラム等の SNS で発信。</li> <li>（２）農業の勉強会と収穫体験・焼芋大会 <ul style="list-style-type: none"> <li>①実施までの準備 講師との調整・告知・会場準備</li> <li>②事業スケジュール （１）の②参照</li> <li>③広報計画について <ul style="list-style-type: none"> <li>・チラシ（300枚）ポスター（20枚）については、子育て広場、公民館に配布・掲示する。</li> <li>・法人の月1回発行の広報誌「あいくる通信」での告知。</li> <li>・法人のホームページ、ブログ、インスタグラム等の SNS で発信。</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>（３）焼芋作りと販売及び焼芋を利用した焼き菓子等商品開発 <ul style="list-style-type: none"> <li>①実施までの準備 焼き芋機購入、看板作り、袋準備</li> <li>②事業スケジュール （１）の②参照</li> <li>③広報計画について <ul style="list-style-type: none"> <li>・焼き芋の看板設置、</li> <li>・法人の月1回発行の広報誌「あいくる通信」での告知。</li> <li>・法人のホームページ、ブログ、インスタグラム等の SNS で発信。</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>（４）情報紙「いるま Agri Commu」（アグリコミュ）」の発行 <ul style="list-style-type: none"> <li>①実施までの準備 地元農業者への取材・通信作成</li> <li>②事業スケジュール （１）の②参照</li> </ul> </li> </ul> <p>※第1号は5月に発行済</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>③広報計画について</li> </ul> <p>各号 800枚印刷、法人通信に折り込む。配布先（法人拠点周辺自治体、法人会員、公民館、子育て支援センター、児童センター）</p>
<p>5. 事業の実施体制</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 総括責任者：宮岡幸江</li> <li>② 連絡責任者：村野裕子</li> <li>③ 現場責任者：村野裕子</li> <li>④ 経理責任者：吉澤由香理</li> <li>⑤ 広報担当者：岩崎希</li> </ul>
<p>6. 来年度以降どのように事業を継続し発展させていくか</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続きサツマイモの栽培を実施</li> <li>・生芋販売、焼き芋販売を行い、その利益で農業従事者を雇用する</li> <li>・焼き芋ペーストを利用した焼き菓子等の商品開発を行い販売す</li> <li>・短時間就労の農業従事者、商品製作者、販売担当者等を雇用し、子育て中の女性の短時間就労場所を確保する</li> </ul>
<p>7. 今回の事業が他の団体、行政等が実施する同種の事業と比べて優れていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農家の後継ぎ問題から不耕作地が増え続けているが、単独の農家や農業委員会では若い世代と関わる機会がなく、農業に興味を持っている人との接点がない。実際には、農業に興味を持っている若い世代は少なくない。通常業務として子育て支援センターを実施している当法人には、若い世代が多く集まっており、その中から担い手を探すことが可能である。</li> <li>・農産物を作って、野菜を販売するだけの2次産業ではなく、作物を加工して商品化し製造販売する6次産業に繋げることが出来る。</li> <li>・子育て親子に直接届く支援（安全な食提供・就労等）が出来る。</li> </ul>